

やんばうあ～ねっと 2015年4月 第31号

ピア・カウンセリング集中講座

3月18日～3月20日の3

日間、希輝々主催の“ピア・カウンセリ

ング”集 中 講座”を行いました。

“ピア”とは“仲間”という意味で、障がいを

もものどうし おこな きあ
持つ者 同士で 行う“聴き合い”を

ちゅうしん こうざ
中 心とした講座です。



普段はなかなか言えない悩みや不安などを、同じ背景や経験を持つ仲間ア) 同士

はなし きあ じしん ともど
で話 を聴き合い、自信を取り戻していくというものです。障がいを持っていることで負った

こころ きず しよう もものどうし
心の傷は、障がいを持つ者 同士だからわかるということもあると思います。自分の考

えを述べることや、他者の 話 を聴いたりして自分を見つめ直す空間をつくることを目指して

いるのは、この講座ならではと思います。

こんかい つねひごろ かんが
今 回 もそれぞれが 常 日頃から 考 えて

おも き
いることや 思 っていることなどを聴くことができ

こんかい さんかしや おも
ました。今 回 の参加者は 主 になじみの

そろ しおにち みな ほど
メンバーが揃 い、初 日は 皆 さん程よい

きんちょうかん むか
緊 張 感で迎 えることができました。

こうざ いちにん はつげん じかん たいとう わ あ すす きが
講座は一 人ひとりが発 言する時間と対 等に分け合いながら進 めていくので、気兼ねな

す こと おも しょにち にちめ さいしゅうび こうざ じゅんちょう すす
く過ごす事ができたと思 います。初 日、2 日目、最 終 日と講座は 順 調 に進 み、

まく お 幕を下ろしました。

こころ ひら げんてん もど かんが
まずは 心 を開き、原 点に戻り 考 え、それから気持ちに整理をつけ、「私 は 私 で

じこしんらい かいふく つな おも
いいんだ」自己 信 賴の回 復に繋 げていければと思 います



ひさ で とうなん
久しぶりのお出かけ I Lで、東 南

しょくぶつらくえん い
植 物 楽 園に行ってきました。いつもは希

らら 輝 各のハイエースに乗って行くんですが、

こんかい ごう つ
今 回 はそらポート号 というリフト付きのバス



お出かけLP

のいのそとみに乗って行きました。いつも乗っているハイエースは外の景色がなかなか見えづらいのですが、
こんかいりようごうまとおおそとけしきみもくべきち今回利用したそらポート号は窓ガラスも大きく、外の景色もはつきり見ながら目的地まで行けたので、おもしろかったです。

とうなんしょくぶつらくえん
東南植物楽園では、みんなと一緒に



さんぽえんないひろに散歩をしました。園内は広くて、

しょくぶつさつ植物がたくさん咲いていて、その中に釣り

ぼじぶんつ堀もありました。自分は釣りをしなかったん

しょくいんりょうしゃですが、ほかの職員さんと利用者さんは、

ににんきょうりょくさかなつはな二人で協力しながら魚を釣っていましたよ。離れたところから見ていたのですが、楽し
そうだったねー。

かえぐしかわ帰りはサンエー真志川メインプレイスによっ

て、ちょこちょこと買い物をしました。途中、

ハピニング？もありましたが、久しぶりのお出

かけＩＬは楽しかったです。

こんかいあたら
今回新しいメンバーになるであろうＳさ



かいわすこできざいたくかえじかん
んとの会話がほんの少しあが出来なかつたけど、Ｓさんが在宅に帰るまでの時間があるの

で、ゆっくり話しあっていけたらなと思ひます。「そらポート」というバリアフリー観光バスの詳しいことは、ネットに掲載されている「NPO法人バリアフリーネットワーク会議」のホームページを見てください。細かいことが載っているので、参考にして下さい。

ヘム＆ディルショット研修受け入れ

今年も恒例のダスキン海外

研修生がやってくる季節になりました。

今年は、ウズベキスタンからディルショットさんが
やってきました。ディルショットさんは、

いつさくねんおきなわけんしゅうおこな
—昨年沖縄で研修を行ったシ



ヨーディアさんやナゾキャットさんと同じ国です。そして今年はもうひとり、JIL九州ブロックで

支援を行っているネパールのCILからヘムさんがやってきました。ヘムさんは、—昨年ネ

パール、ポカラのCILからやってきたアンジャナさんと同じセンターの仲間です。

がつ きらう かつどう たいへんいそが
2月の希輝々の活動は大変忙しく、ひと月のうちの半分しか名護にいませんでした

かれ きらう けんしゅう がつ にち けんしゅうしょにち はく
た。彼らの希輝々での研修は2月1日からでしたが、研修初日からいきなり5泊

にち いしがきじましゅつちょう よてい はい じむしょ せいたい むか
6日の石垣島出張の予定が入っていたので、いつもなら事務所で盛大にお迎

まえ けんしゅうち みやざき なはくこう どうちやく
えするところを、前の研修地の宮崎から那覇空港に到着したディルショットさんを

くうこう でむか いしがきい ひこうき の カ しゅつちよう つ い
空港で出迎えて、そのまま 石垣行きの飛行機に乗り換えてもらい 出張に連れて行って

いっぽう まえ けんしゅうち いしがきじま げんち
しました。一方、ヘムさんは前の研修地が石垣島でしたので、そのまま現地に

のこ 残ってもらいました。そのころ、石垣島の自立生活センター 南十字星では、5

にち にち にちかん かいさい そだんいん ぎょうせいしょくいん
日・6日の2日間にわたって開催される、相談員と行政職員にむけての

じょうれい けんしゅうかい じゅんび おおづ むか
条例の研修会の準備が大詰めを迎えていたところでした。ヘムさんとデイルショット

てつだ くわ まいにち なか けいはつかつどう
さんもそのお手伝いに加わり、毎日ハードなスケジュールの中、啓発活動をしました。

とうない ふくしかんけいきかん ぎょうせいきかん けんしゅう しゅしせつめい
島内の福祉関係機関や行政機関をまわって研修の趣旨説明をしたり、

けんしゅうかい さんか よか まいにち あ と まわ
研修会への参加を呼び掛けたり、毎日いろんなひとに会って、あっちこっち飛び回るハ

かつどう ふたり げんき かつどう わ くわ われわれ たの
ードな活動でしたが、2人ともとっても元気よく活動の輪に加わってくれ、我々も楽しく

しごと ふたり にち にち ほんばん ていいん こ
仕事ができました。2人がいてくれたこともあって、5日・6日の本番には定員を超える

さんかしや あつ ぶじお
参加者が集まり、無事終えることができました。

よくしゅう なご きらら じむしょ
翌週は名護の希輝々事務所で

けんしゅう おこな なご
研修を行いました。名護での

けんしゅう おも しせつ さきょうしょ
研修は主に施設や作業所などの

ちいき ふくしかんけいきかん けんがく
地域の福祉関係機関の見学でした。

けんがくさき かいがいけんしゅうせい
見学先ではいつも海外研修生



だいにんき ふたり しつもん ぎやく ふたり あんない
は大人気です。2人ともいっぱい質問されて、逆に2人も案内してくれたひとにたくさん

しつもん けんしゅうせい まいとし ほんとう べんきょうねっしん
ん質問していました。研修生のみなさんは毎年そうですが、本当に勉強熱心
です。

はねちしうがつこう ふくしたいけんがくしゅう さんか えんりょ
また、羽地小学校で福祉体験学習にも参加しました。はじめは遠慮がちだった

こども にほんご じょうず した かれ せつ うと
子供たちでしたが、日本語も上手で親しみやすい彼らと接するうちにだんだんと打ち解け

わか じかん なかよ
て、お別れの時間がくるころにはとても仲良くなっていました。

きらら けんしゅうさいしゅうしゅう
希輝々研修最終週はまたしても

はく にち しゅっしゅう いしがきじま
5泊6日の出張でした。石垣島

しゅっしゅう おな そだんいん ぎょうせい
出張と同じく、相談員と行政

しょくいんむ けんしゅうかいじゅんび
職員向け研修会準備のために、

こんど みやこじませいかつ
今度は宮古島生活センター（）に

い みやこじま ふたり さんかよ しゅしせつめい ひと あ
行きました。宮古島でも2人は参加呼びかけと趣旨説明のためにたくさんの人たちに会

い、せつきよくてき とく
い、積極的にいろいろなことに取り組みました。



りょうり れんしゅう
まんたでは料理の練習もしました。まん

じむしょ ひる はん とうばんせい
たの事務所ではお昼ご飯が当番制に

じぶん ちょうり た
なついて自分たちで調理してみんなで食

けんしゅうせい ふたり しょくざい
べるので、研修生の2人も食材を

き いた てつだ
切ったり、炒めものをしたりして手伝いまし
た。



みやこじま うん たいけんがくしゅう
また、宮古島でも運よく体験学習

さんか げんき ひさまつ
に参加できました。とても元気のいい久松

しょうがっこう こども くるま お
小学校の子供たちに車いすを押しても

かいじょしゃたいけん
らつたりして介助者体験をしてもらうこと
ができました。



たの みやこしゅっちょ
とてもハードでしたが楽しかった宮古出張からへトヘトになって帰って来たその翌日、希

らら けんしゅうさいしゅうび がつ にちどうび つか
輝々研修最終日の2月21日土曜日、疲れすぎてハイテンションのままお出かけI

いえじま とうじしゃ かた なは
L Pとして伊江島の当事者の方と那覇のセルラースタジアムへ広島対巨人戦を見に

で にんげん おお おと あつとう
出かけました。あまりの人間の多さとあまりの音のデカさに圧倒されつつ、ここでルールを
せつめい じんせいはつ やきゅうかんせん おお たの くるま いすで
説明してもらいながら人生初のプロ野球観戦を大いに楽しみました。車いすで

もちゃんと試合観戦を楽しめること、そしてエレベーターや車いす専用トイレなどの設備

がしっかりと整っていることにも感謝していました。

こうして3週間の希輝々研修

研修といえるのか?!）を無事終えました。

ながじかんす
いつしょに長い時間を過ごしたので、いっぱい

おもでかれすがた
い思い出ができ、彼らのいろんな姿を



みいちばんいんしようのこ
見ることができました。一番印象に残

かれべんきょうつよきもみ
っていることはやっぱり彼らの「勉強したい！」という強い気持ちがたくさん見えたことです。

かれにちちゅうわれわれしごとよるまいにちおそ
彼らは、日中は我々といつしょに仕事をして、夜はほとんど毎日のように遅くまでレ

かことばちがなとちきちようきかんべんきょう
ポートを書いていました。言葉の違う慣れない土地に来て長期間にわたって勉強すること

こころぼそゆうきおもかれ
とは、きっととても心細いだろうし勇気もいることだろうと思いますが、彼らはどんなことでも

たのとくわれわれかたげんきき
とても楽しそうに取り組んでいたので、かえって我々の方が元気をもらえた気がしています。

こきょうかえおきなわべんきょうやくこきょうしうがいしゃ
きっと故郷に帰ってから沖縄で勉強したことが役にたって、故郷の障害者

うんどうひばひと
運動を引っ張っていくような人になってくれることでしょう！